

# 特定非営利活動法人ひろがり 令和4年度事業報告

## 1 事業実施の報告

特定非営利活動法人ひろがりには、障がい児の子育てと障がい者の豊かな生活の支援に関する事業を行ってきた。また、障がい児の子育てと障がい者の豊かな生活を支援するための各種研修事業、研究事業などを行うことにより、障がい児（者）をとりまく環境をよりよくし、地域福祉の増進と向上に寄与することを目的として、下記の事業を計画実施した。

具体的には、本法人の定款第5条第1項の事業として、障害児通所支援事業を中心として、各種研修事業、研究事業を行い、障害福祉サービス事業、地域生活支援事業、については、さらに調査し、ニーズと人材を考慮し、検討した。どの事業も、新型コロナウイルス感染症による感染予防対策をして実施した。また、研修、研究事業については、オンラインによる方法を取り入れて対応した。

新型コロナウイルス感染症の影響、職員の高齢化の影響、退職者が数人出たことなどが重なり、重症児デイサービスひろがり1くみを3月で休止せざるを得なくなった。また、経営面でも昨年度の利益を大きく下回る結果となり、経営の立て直しを図るために、経営顧問として、勝連聖史氏を迎え、変革に向かい始めた。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

#### ① 子育て相談

##### ア. 事業内容

重症児の子育て支援、親や関係者による重症児の子育て支援について、子や親の気持ちに寄り添う支援を行い、ともにひろがり、成長するよう努めた。

- ・重症児の心と体の相談
- ・呼吸を育む相談
- ・かかわり方や遊びの相談
- ・食べる力を育む相談
- ・食形態の相談
- ・動きや姿勢、介助の仕方の相談
- ・排せつの相談
- ・発声、発語の相談
- ・表情や笑顔の相談
- ・歯科相談
- ・兄弟の相談
- ・その他 子育て・子育てに関する何でも相談

##### イ. 実施日時

令和4年4月1日～令和5年3月31日

##### ウ. 実施場所

重症児デイサービスひろがり1くみ、2くみ

##### エ. 従事者の人数

ひろがりスタッフ 9名

オ 受益対象者の範囲及び人数

障がい児（者）家族延べ 100 組 障がい児支援者 40 名

② 研修事業

ア 食べる力を育てる研修会

<研修動画の配信>

(ア) 事業内容

障がいの重い方が、食事をおいしく楽しく安全に食べることができるように、障がい児（者）、家族、かかわる人たちが、具体的、実践的に研修し、障がい児をとりまく環境をよりよくし、地域福祉の向上と増進に寄与するように努力した。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度製作した「重症児のプロ育成講座」を研修希望の方が引き続き無料で視聴できるようにした。

(イ) 実施日時

令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日

(ウ) 受益対象者の範囲及び参加人数

・障がい児（者）家族、障がい児支援者など一般市民約 400 名

<「意欲を育む食事支援」講演会の実施>

(ア) 事業内容

東海労金こども未来応援寄付金により、講演会及び DVD の制作を行った。  
田角 勝氏講演会を、名古屋国際センターで行った

(イ) 実施日時

令和 4 年 12 月 10 日 13 時～15 時 30 分

(ウ) 受益対象者の人数

当日参加 50 名 1 月 20 日～2 月 19 日まで配信受講者 125 名  
DVD は 200 組作成した。今後の研修会で配布予定。

イ 「こころとからだにやさしい介護食づくり～食べる力を育てる実習～」研修会

(ア) 事業内容

・食べる機能に障がいのある障がい児が、おいしく、楽しく、安全に食べることができる、こころとからだにやさしい介護食について研究するとともに、関係する支援者、家族、職員らが実際に作って食べてみるという研修を開催した。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度製作した「重症児のプロ育成講座」を研修希望の方が引き続き無料で視聴できるようにした。

(イ) 実施日時

令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日

(ウ) 受益対象者の範囲及び参加人数

・障がい児（者）家族、障がい児支援者など一般市民約 400 名

エ 「こころとからだの研修会」

<特定非営利活動法人陽だまり笑顔の会> 研修会>

(ア) 事業内容

重度障害児（者）とのかかわり方の基本、健康づくり、コミュニケーション力向上を

「ふれあい体操」を活用して研修した。

- (イ) 実施日時  
令和5年1月29日
- (ウ) 実施場所  
桜井市総合福祉センター
- (エ) 従事者の人数  
講師3名（ひろがりスタッフ）  
開催スタッフ（正会員3名）
- (オ) 受益対象者の範囲及び参加人数
  - ・ 障がい児支援者など一般市民約25名

<港特別支援学校ふれあい体操研修会>

- (ア) 事業内容  
重度障害児（者）とのかかわり方の基本、健康づくり、コミュニケーション力向上を  
「ふれあい体操」を活用して研修した。
- (カ) 実施日時  
令和4年7月27日
- (キ) 実施場所  
港特別支援学校自立活動室
- (ク) 従事者の人数  
講師1名（ひろがりスタッフ）  
開催スタッフ（賛助会員2名）
- (ケ) 受益対象者の範囲及び参加人数
  - ・ 港特別支援学校教員30名

エ 「重度障がい児のかかわり方の基本研修会」など

- (ア) 事業内容  
重度障がい児（者）とのかかわり方の基本を、「障がいの重い子どものためのふれあい体操」「からださん元気ですか体操」などの体操を活用して研修し、障がい児（者）とのよりよいコミュニケーションの力を身につけ、地域福祉の向上と増進に寄与した。  
今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年同様に、撮影録画、編集した研修動画を、希望者にオンラインで配信した。
- (イ) 配信実施日  
令和4年4月1日～令和5年3月31日
- (ウ) 受益対象者の範囲及び受講人数
  - ・ 一般市民（障がい児の親、障がい者にかかわる方、特別支援学校教員など）200名

### ③ 研究事業

事業内容

- ・ 重度障がい児の子育てと重度障がい者の豊かな生活支援について、日々の重症児デイサービスの生活を通して実践研究した。  
特に、今年度は、「味わう」ことの意味、意義について、実践的な研究をつづけた。感覚刺激としての味覚や口腔周辺の触覚、嗅覚、聴覚、視覚の五感を駆使した感覚入力が、子どもの発達にお

いていかに大切で大きな意味があるかを、重症児の食支援を通じて研究した。

④ 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業  
今年度は、実施しなかった。

⑤ 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく地域生活支援事業  
今年度は、実施しなかった。

⑥ 児童福祉法に基づく障害児通所支援事業

(ア) 事業内容

障害児通所支援事業（児童発達支援、放課後等デイサービス）

第1事業所 「重症児デイサービスひろがり1くみ」

第2事業所 「重症児デイサービスひろがり2くみ（放課後デイサービス）」

「重症児デイサービスひろがり2くみ（児童発達支援）」

(イ) 実施日時

第1事業所 令和4年4月～令和5年3月に実施

第2事業所 （放課後等デイサービス）令和4年4月～令和5年3月に実施  
（児童発達支援） 令和4年4月～令和5年3月に実施

(ウ) 実施場所

第1事業所

名古屋市港区名四町183番3

第2事業所

（放デイ）名古屋市中川区松年町4丁目3番地マイハウスコンカドール103号

（児発）名古屋市中川区松年町4丁目3番地マイハウスコンカドール102号

(エ) 従事者の人数

第1事業所

児童発達支援管理責任者1名、管理者1名、保育士3名、児童指導員12名、指導員1名、機能訓練担当職員5名、看護師10名、嘱託医1名、嘱宅歯科医1名

第2事業所

（放デイ）児童発達支援管理責任者1名、管理者1名、保育士3名、児童指導員13名、指導員1名、機能訓練担当職員4名、看護師9名、嘱託医1名、嘱宅歯科医1名

（児発）児童発達支援管理責任者1名、管理者1名、保育士2名、児童指導員10名、指導員1名、機能訓練担当職員4名、看護師9名、嘱託医1名、嘱宅歯科医1名

受益対象者の範囲及び利用人数

第1事業所 （放デイ）障がい児1,193名(延べ人数) 1日平均4.4人

第2事業所 （放デイ）障がい児1,310名(延べ人数) 1日平均4.9人

（児発）障がい児689名(延べ人数) 1日平均3.0人